

全国のカーボン・オフセット 事例紹介

2022年3月11日

J-クレジット制度事務局

(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 環境エネルギー第2部)



1. J-クレジットの創出状況
2. J-クレジットの活用状況
3. 全国のカーボン・オフセットの事例
4. 活用スキームの構築



1. J-クレジットの創出状況

2. J-クレジットの活用状況

3. 全国のカーボン・オフセットの事例

4. 活用スキームの構築



1-1. 創出側の動向①：卒FIT電源の認証対象化

- 買取期間が満了したいわゆる「卒FIT等電源」等の太陽光発電設備について、追加的な設備投資を行う場合は認証対象に。
- 卒FIT電源等の既設の太陽光発電設備であっても、追加的な設備投資を行う場合は認証対象とすることが可能に※。
 - ※ J-クレジット制度に登録できる設備は、原則、稼働から2年以内のもの
 - ※2022年3月9日の制度改定で、風力発電設備も対象に
- 【追加的な設備投資の一覧（1つ以上の設備導入が必要）】
 - ①出力制御対応機能付きパワーコンディショナー
 - ②蓄電池
 - ③電気自動車、プラグインハイブリッド自動車
 - ④貯湯槽付きヒートポンプ（エコキュート）

※家庭に①～④の追加的な設備投資を実施を実施する場合、投資回収年数の計算を省略することが可能です。
（J-クレジット制度では、成り行きでは進まない活動を応援する観点から、原則、設備の投資回収年数が3年以上であることが要件です）
※但し、エコキュートに限り、投資回収年数の計算が必要な場合がございますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

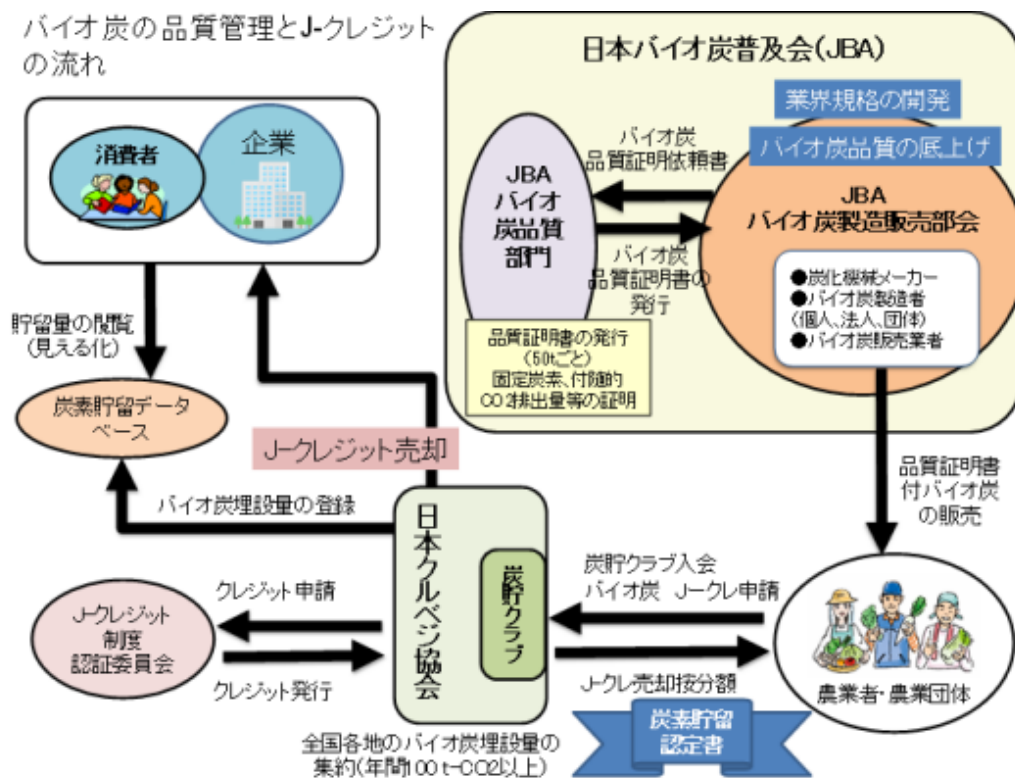


1-1. 創出側の動向②：農業分野由来クレジットの登場

■ 農地に剪定枝などの未利用バイオマスを炭化した「バイオ炭」を施用することで、炭素を貯留する方法論が登場。

- 木質材料、竹、もみ殻等を炭化したものや燃料炭製造時の残渣等が主な対象。
- 100年後残存率を用いることで、長期的な炭素固定量を評価。
- 施用する炭の品質評価が必要。

バイオ炭の品質管理とJ-クレジットの流れ



バイオ炭品質証明書

〇〇製炭 殿

2021年00月00日発給のバイオ炭(炭化番号:〇〇〇〇)について
日本バイオ炭普及会(JBA)の規格に適合し
その品質は下記のとおりであることを証明する。

2021年00月00日
日本バイオ炭普及会
品質管理部長 沖森 泰洋

- 1) バイオ炭製造場所: 〇〇県〇〇市〇〇町
- 2) バイオ炭製造方法: 〇〇〇
- 3) バイオ炭原料: 木質屑/稲わら
- 4) 品質証明対象炭量: 〇〇トン (〇〇〇m³)
- 5) 品質有効期限: 発行日より1年(更新可能)
- 6) 品質測定事項

測定項目	単位	測定結果
炭化率	g/g	〇〇.〇g/g
水分(炭化ベース)	%	〇〇.〇%
灰分(炭化ベース)	%	〇〇.〇%
揮発分(炭化ベース)	%	〇〇.〇%
固定炭素率(炭化ベース)	%	〇〇.〇%
揮発性炭素率(炭化ベース)	%	〇〇.〇%
付随的CO₂排出量	CO₂/kg	〇〇.〇CO₂/kg

品質評価結果: 品質優良(炭化率: 〇〇.〇g/g, 炭化率: 〇〇.〇g/g)

2021年00月00日発行(有効期限: 2021年00月00日まで) 品質管理部長 沖森 泰洋

(出典) 一般社団法人 日本クルベジ協会提供資料

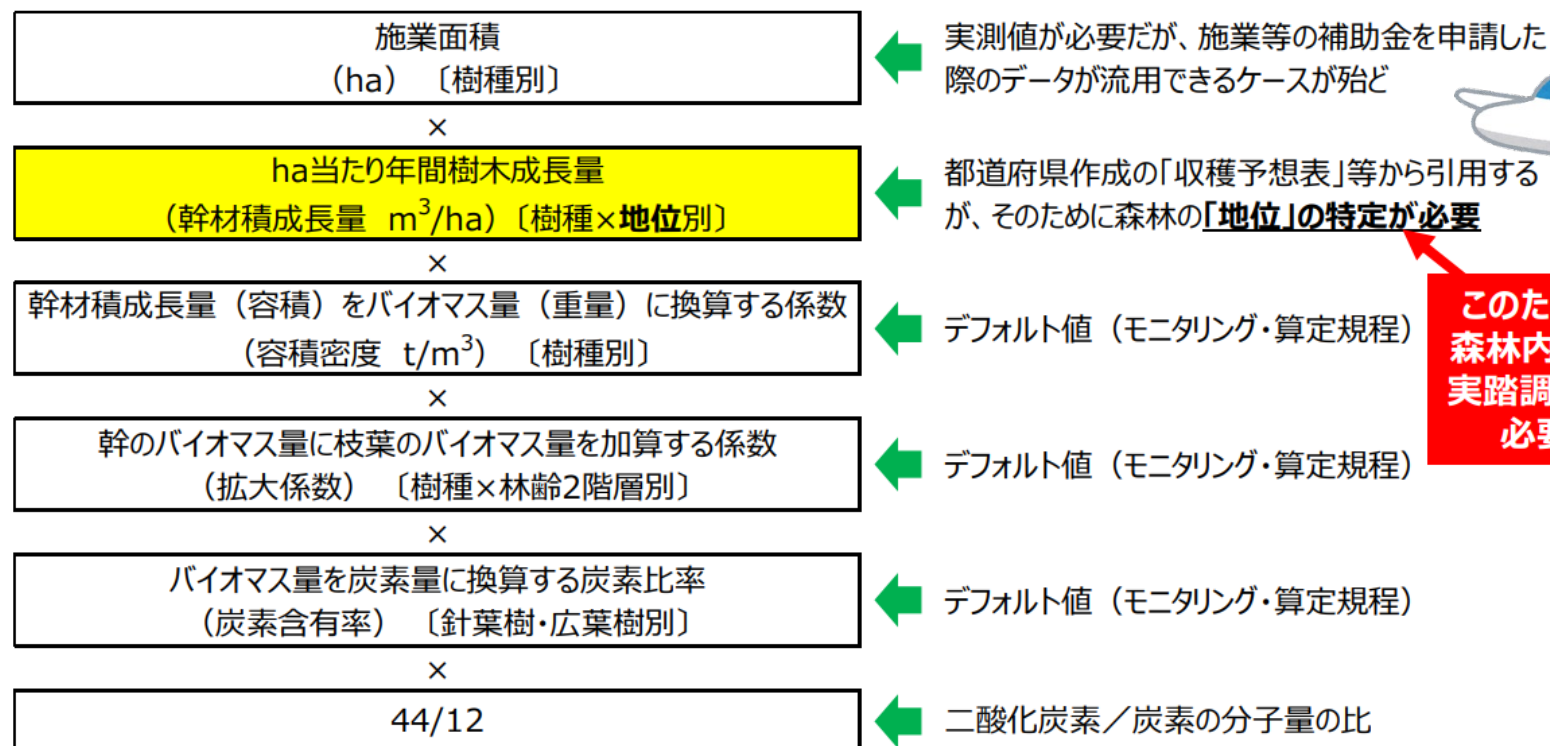
(出典) J-クレジット制度第24回運営委員会資料 5



1-1. 創出側の動向③：森林分野におけるリモートセンシングの活用

■ 吸収量の計算に必要な地位のモニタリングに、航空機からのリモートセンシングが活用可能に。

- 森林経営方法論において、地位のモニタリングは、J-クレジット制度への参加に当たって追加的な調査を必要とするところ。
- 地位の特定に必要なモニタリングに、航空機からのレーザー測定の活用が可能に。

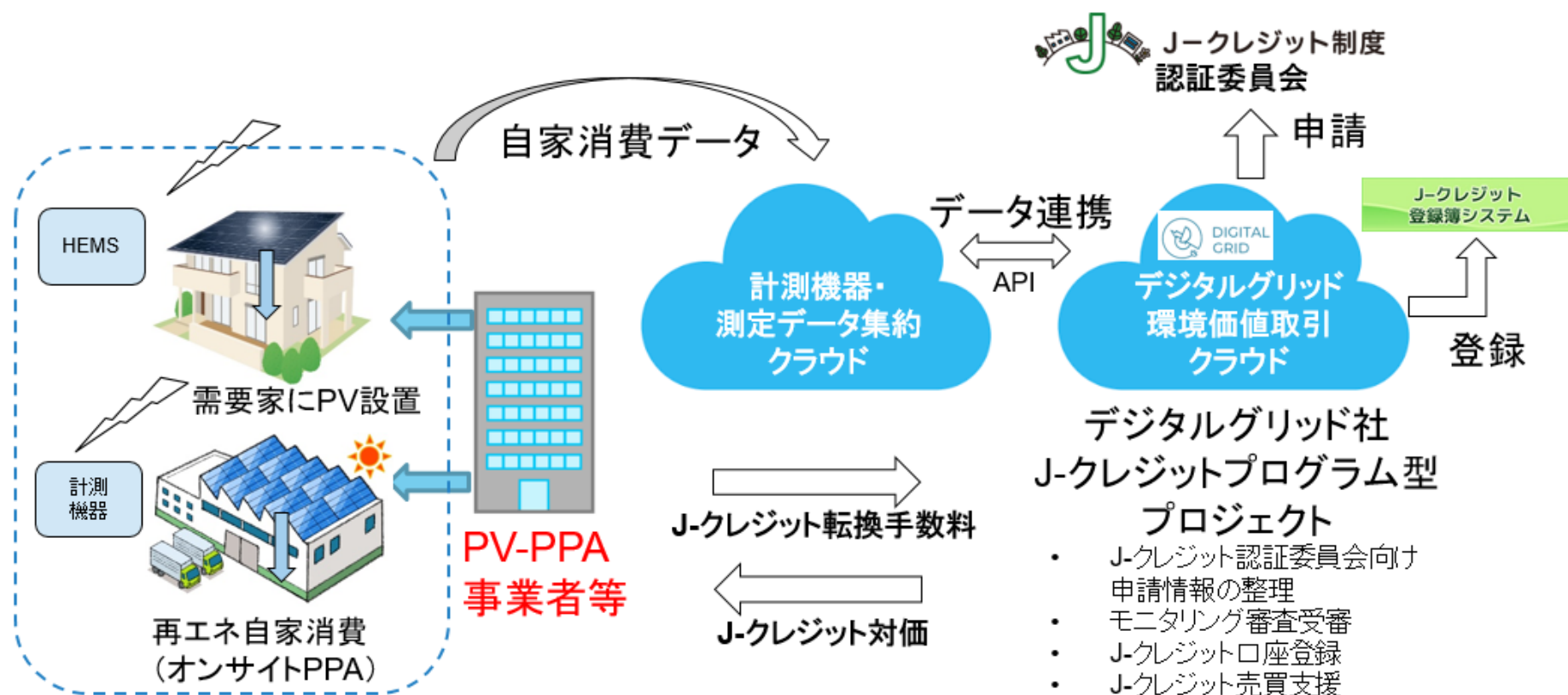


（出典） J-クレジット制度第23回運営委員会資料 6



1-2. J-クレジットの創出事例①：デジタルグリッド株式会社様

- デジタルグリッド株式会社は、IoT機器を活用したモニタリングを行うJ-クレジットプロジェクトを運営。
 - PV-PPA事業者等が需要家に設置したPVの発電電力が自家消費された様子は、計測機器メーカーの監視・制御装置やHEMSが測定し、そのデータはそのメーカーのクラウドに集約。そのメーカークラウドとのAPI連携により、デジタルグリッドの環境価値取引クラウドにデータが移転。
- クレジット創出に向けた各種データ処理、クレジット創出後の売買等の事業者支援も実施。



(出典) デジタルグリッド株式会社 提供資料

1-2. J-クレジットの創出事例②：イオンアグリ創造株式会社様

事例
11

農場におけるバイオマス固形燃料（木質バイオマス）による
化石燃料の代替（木質ペレット）【イオンアグリ創造株式会社】

排出削減見込み量

1,216 t-CO₂

プロジェクト概要

施設栽培ハウス内の加温用の熱源として、化石燃料又は系統電力ではなく、木質バイオマスを燃料とするボイラーを導入することで、CO₂排出量を削減する。
認証期間：2019年2月～2027年3月（8年0ヶ月）

プロジェクトイメージ

【適用方法論】 EN-R-001 バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替

プロジェクト実施前（ベースライン）

プロジェクト実施後



LPG ボイラー

加温



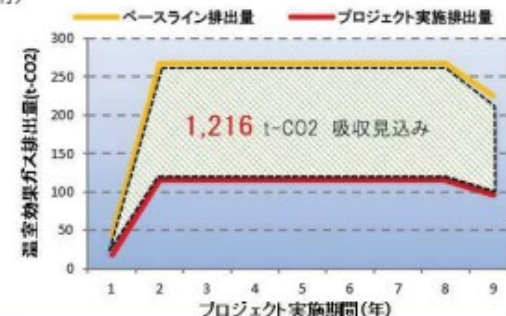
木質バイオマスボイラー

加温



LPG ボイラー

（併用）



（出典）農林水産省 J-クレジットのすすめ



1-2. J-クレジットの創出事例③：フタバ産業株式会社様

事例
12

園芸用施設における炭酸ガス施用システムの導入

【フタバ産業株式会社】

排出削減見込み量

1,630 t-CO₂

プロジェクト概要

園芸用施設における化石燃料方式のCO₂施用について、別途設置している空調用ボイラーの排気ガス等からCO₂を回収し施用するシステムを導入することで、CO₂排出量を削減する。
認証期間：2019年12月～2031年3月（11年4ヶ月）

プロジェクトイメージ

【適用方法論】 EN-S-041 園芸用施設における炭酸ガス施用システムの導入

プロジェクト実施前（ベースライン）

プロジェクト実施後



17

(出典) 農林水産省 J-クレジットのすすめ



1. J-クレジットの創出状況

2. J-クレジットの活用状況

3. 全国のカーボン・オフセットの事例

4. 活用スキームの構築



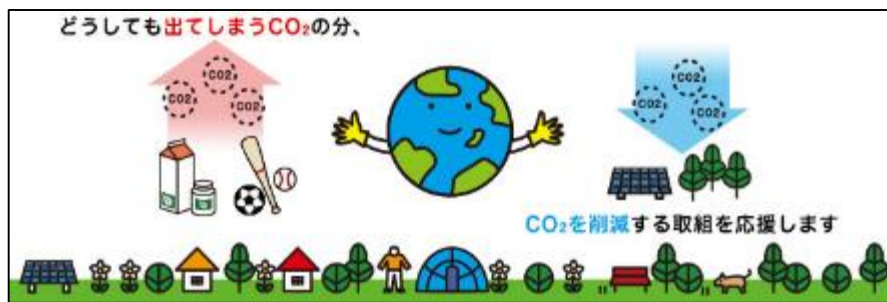
2-1. J-クレジットの活用方法

- J-クレジットは国内の法制度への報告、海外イニシアチブへの報告、企業の自主的な取り組み等、様々な用途への活用が可能。近年、活用量・需要規模が大きいのは「小売電気事業者の排出係数の調整」と「CDP及びRE100への報告」。
 - 温室効果ガス排出の削減や再エネ電力の調達について、自社の努力だけでは賄うことができない部分をJ-クレジットを活用してカバーすることが可能。

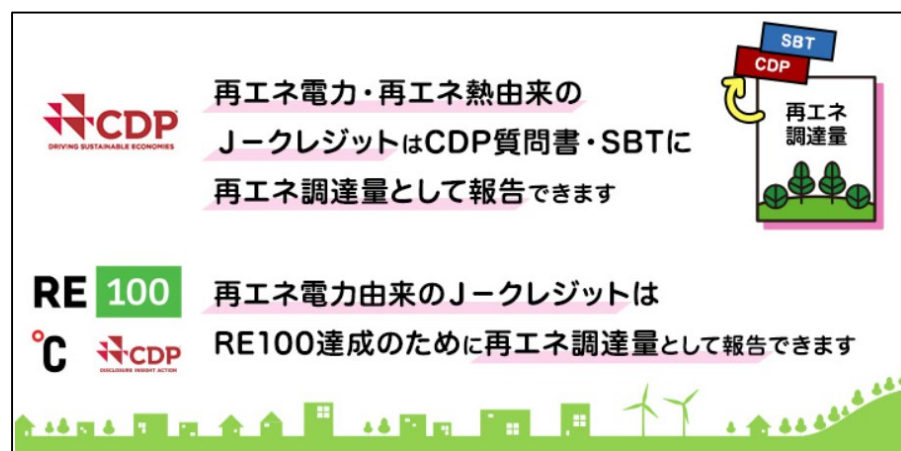
<国内の法制度への報告>



<企業の自主的な取り組み>



<海外イニシアチブへの報告>

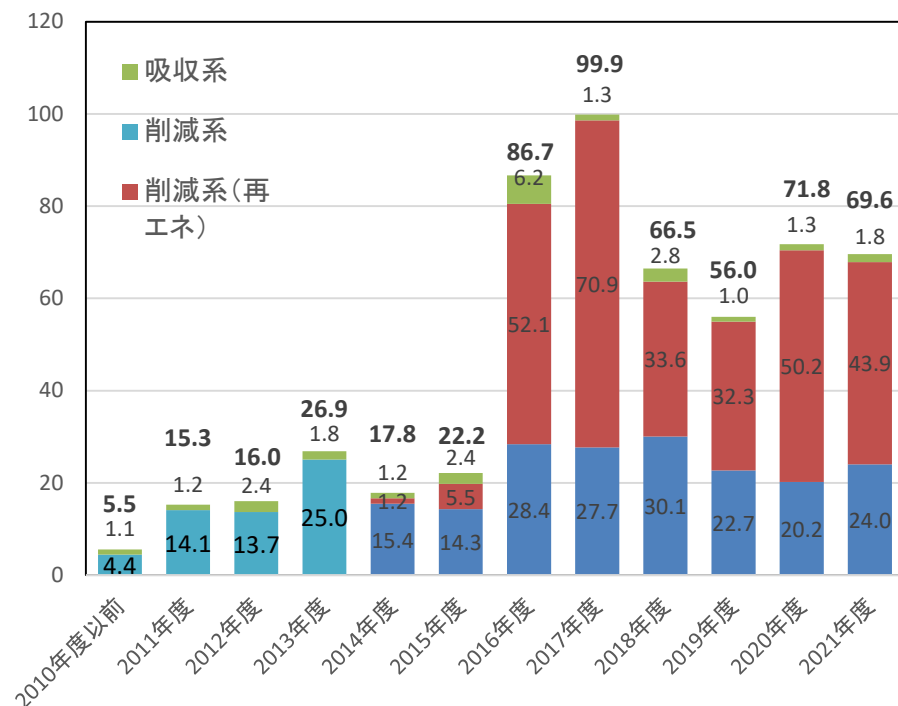


2-2. J-クレジットの活用（無効化・償却量）の状況 その1

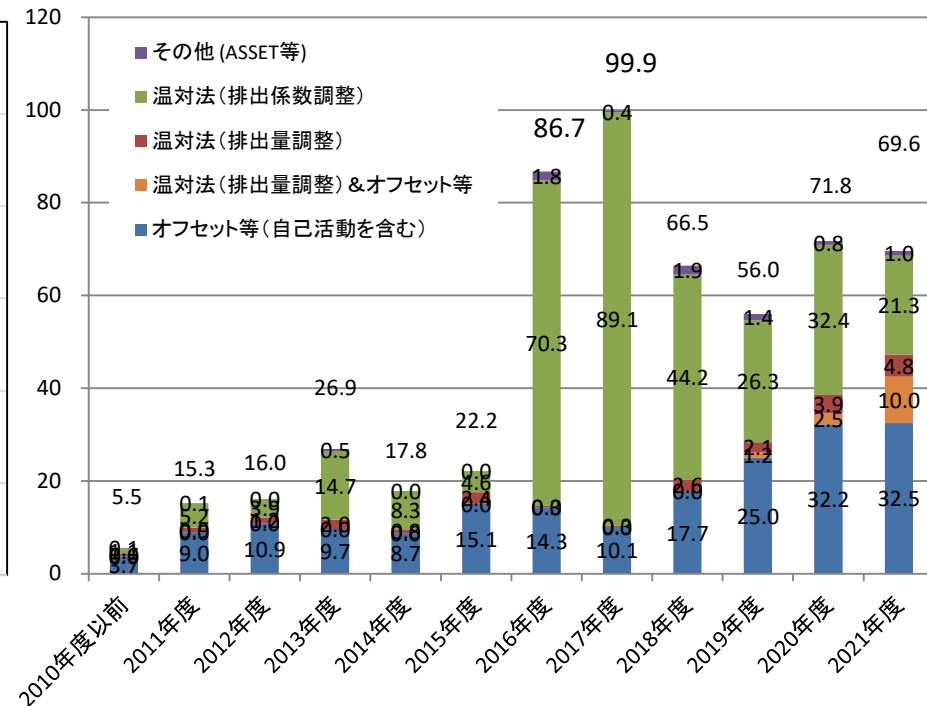
- 全認証量**838万t-CO₂**中、これまでに無効化・償却されたクレジットは、**469万 t-CO₂**
J-クレジット、国内クレジット、J-VER全てのクレジットにおける、無効化・償却量を指す。
- 2016年度以降、無効化の目的は「温対法（係数）」が最多だが、近年は「オフセット等」も増加傾向。
「無効化」とは、J-クレジット登録簿上でJ-クレジット、J-VERを無効化償却口座に移転し、それ以降移転できない状態にすることを指す。「償却」とは、J-クレジット登録簿上で国内クレジットを無効化償却口座に移転し、それ以降移転できない状態にすることを指す。

<クレジット種別・目的別 無効化・償却量の推移>

万t-CO₂



万t-CO₂



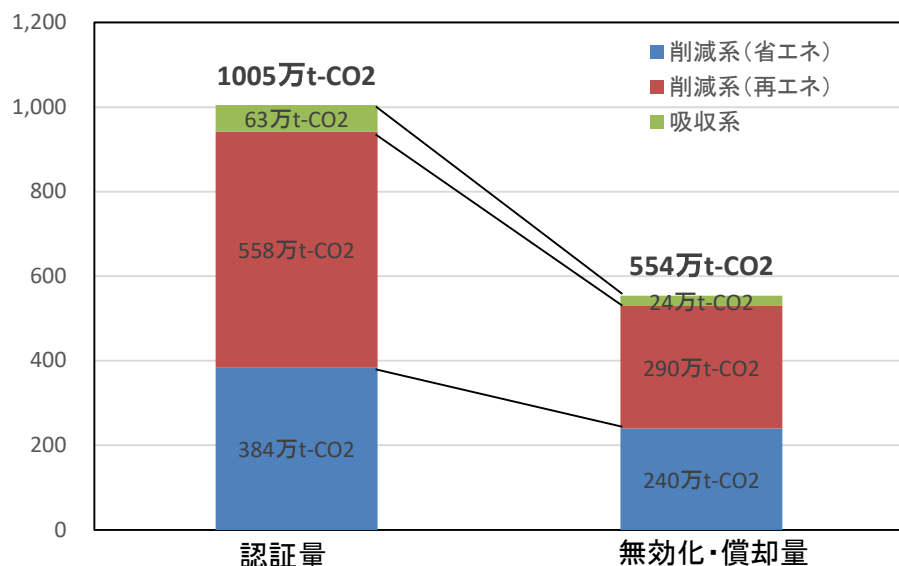
2022年2月16日時点の実績

2-3. J-クレジットの活用（無効化・償却量）の状況 その2

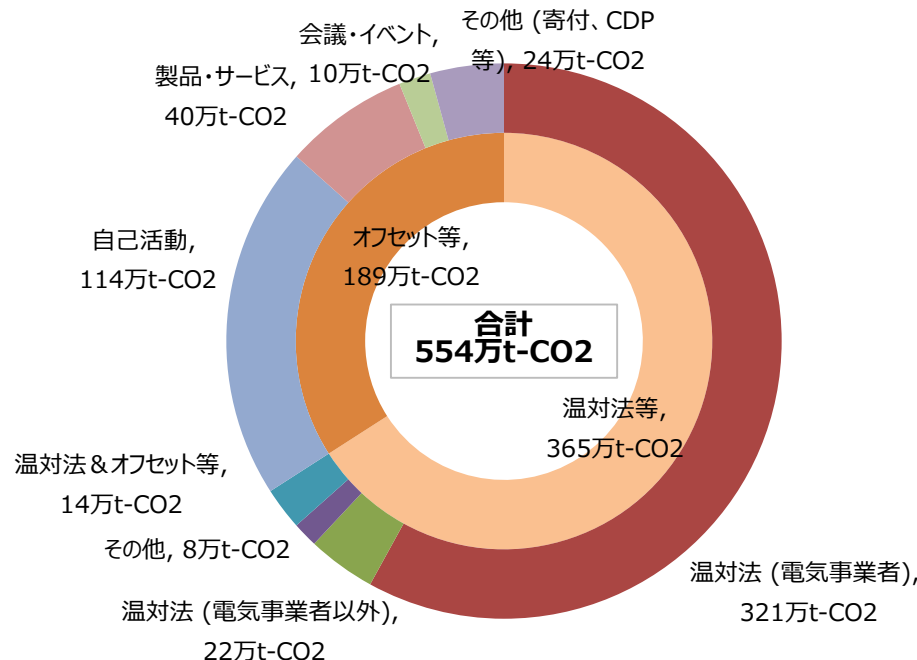
- 省エネ設備・再エネ設備の導入による**削減系クレジット**と、森林経営による**吸収系クレジット**の無効化・償却率は、それぞれ約62%, 約38%
- 電力の排出係数調整、自己活動や製品・サービスのオフセットへの利用が多い

クレジット種別 認証量 VS 無効化・償却量

万t-CO₂



無効化・償却量の内訳 (累積)



※ 2013年度以前の削減系の無効化・償却量の内訳はデータがないため、全て削減系（省エネ）としている。

2022年2月16日時点の実績

2-4. カーボン・オフセットとは

- 子どもでも分かる内容の「カーボン・オフセット」に関するパンフレットを作成。

クールチョイス

カーボン・オフセットで^か変えよう！



^{おんだんか}温暖化が進む ^{ちきゅう}地球をまもろう！

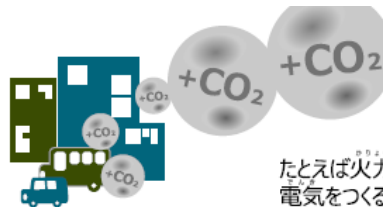
しーあーつー
-CO₂



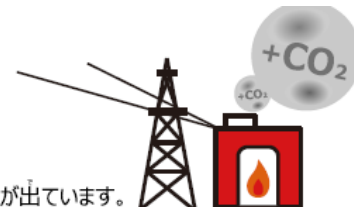
2-5. カーボン・オフセットとは

わたしたちは 生活するうえで **CO₂を出して**います。

日本で 1 家族が 1 年間生活すると 約 **4,480** キログラム の CO₂ が出ているそうです。



たとえば火力発電所で
電気をつくる時も CO₂ が出ています。



出典：温室効果ガスインベントリオフィス「2017 年度家庭からの二酸化炭素排出量」(<http://www-glo.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html>)

これを「なかったこと」にするには… **CO₂を吸ってくれる** スギの木 **509** 本が必要です。



ほかに CO₂ をへらす取組もあります。

出典：林野庁「森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？」(http://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/20141113_topics2_2.html)

カーボン・オフセットは、**出してしまう CO₂** を **へらした CO₂** で「なかったこと」にするひき算の仕組みです。

たとえば…

$$\begin{array}{ccc} +5 & -5 & = \\ \text{キログラム} & \text{キログラム} & \end{array} \quad \pm 0$$

オフセット

カーボン・オフセットして変えよう！

温暖化が進む **地球をまもろう！**



2-6. カーボン・オフセットの3つのステップと仕組み

■ 3つのステップ

CO₂ って、どのくらい出ているの？

① 知って

たとえば、1 人が 10km をクルマで移動すると、
CO₂ は 約 **1.98** キログラム 出ています。

+CO₂



② へらして

同じく 1 人が 10km を移動するとき、
電車をえらぶことで、CO₂ が出る量は
約 **0.24** キログラム にへります。

+CO₂



③ オフセット

へらしても、どうしても出てしまう 0.24 キログラムの
CO₂ を「なかったこと」にしよう！

$$+0.24 - 0.24 = \pm 0$$

+CO₂



-CO₂



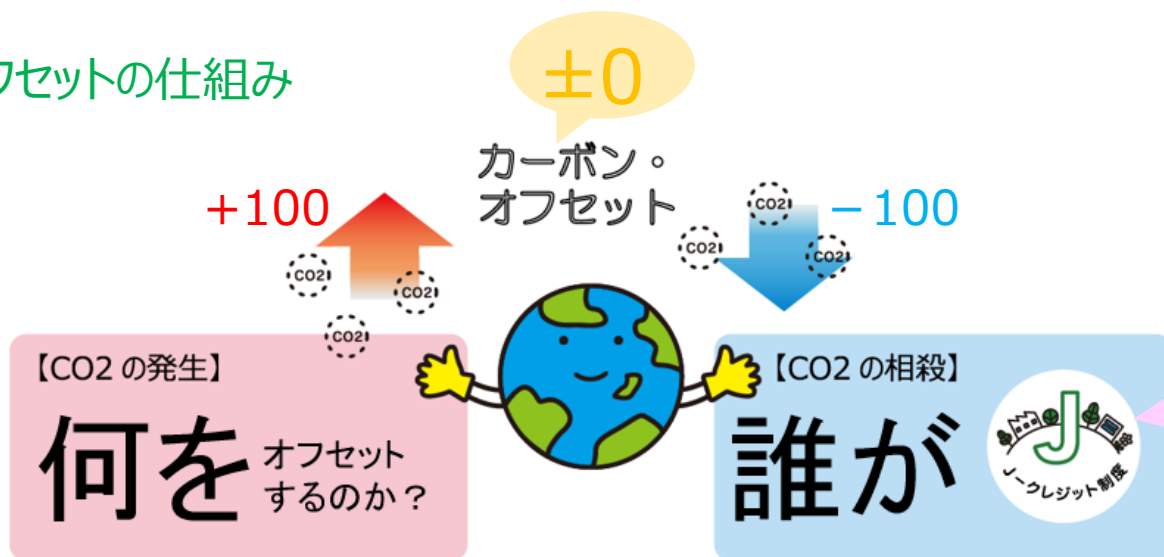
豆しき

二酸化炭素を示す
記号の「CO₂」、
Cは炭素(=カーボン)
Oは酸素のことだよ。
だから
「カーボン・オフセット」
って言うんだね！

出典：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.2.6)」交通区分別旅客人・km 当たり
排出原単位を元に算出 (https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/DB_V2-6.xlsx)

①②③のステップが「カーボン・オフセット」です。

■ オフセットの仕組み

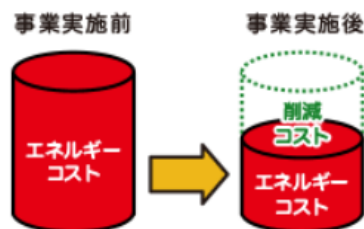


Point!

クレジットを使う
(無効化する)こ
とで、CO₂削減、
吸収の取組の推
進につながる！
→地球温暖化
防止に貢献

2-7. Jークレジット「創出者」のメリット

ランニングコストの低減



省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、ランニングコストの低減や、クリーンエネルギーの導入を図ることができます。

クレジット売却益



設備投資の一部を、クレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

地球温暖化対策への取り組みに対するPR効果



自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。

新たなネットワークの構築



創出したクレジットが、例えば、地産地消的に地元有缘の深い企業や地方公共団体に利用されるなど、新しいネットワークの構築につながります。

組織内の意識改革・社内教育



Jークレジット制度に参加することで、省エネの取組みが具体的な数値として見える化でき、メンバーの取組み意欲向上や意識改革にもつながります。

2-8. J-クレジット「活用者」のメリット

環境貢献企業としてのPR効果

クレジットの購入をとおして、日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。

企業評価の向上

温対法・省エネ法の報告への活用や、各種企業評価調査等においてクレジット購入をPRすることで企業評価につなげることができます。

製品・サービスの差別化

製品・サービスに係るCO2排出量をオフセットすることで、差別化・ブランディングに利用可能です。

ビジネス機会獲得・ネットワーク構築

クレジット購入を通して構築された企業や地方公共団体との新たなネットワークを活用し、ビジネス機会の獲得や新たなビジネスモデルの創出につなげることができます。

CSR報告書への記載

クレジットの地産地消

→企業のイメージアップ
→地域経済の活性化

カーボン・オフセットに対する

消費者の認知度・好感度がUPすると、

上記のメリットは、その効果が増大する

2-9. 企業のイメージアップ

<情報発信の例>

- 新聞記事
- ニュース
- TVCM・ラジオCM
- パンフレット
- J-クレジット制度ホームページ
- 自社ホームページやTwitterで発信

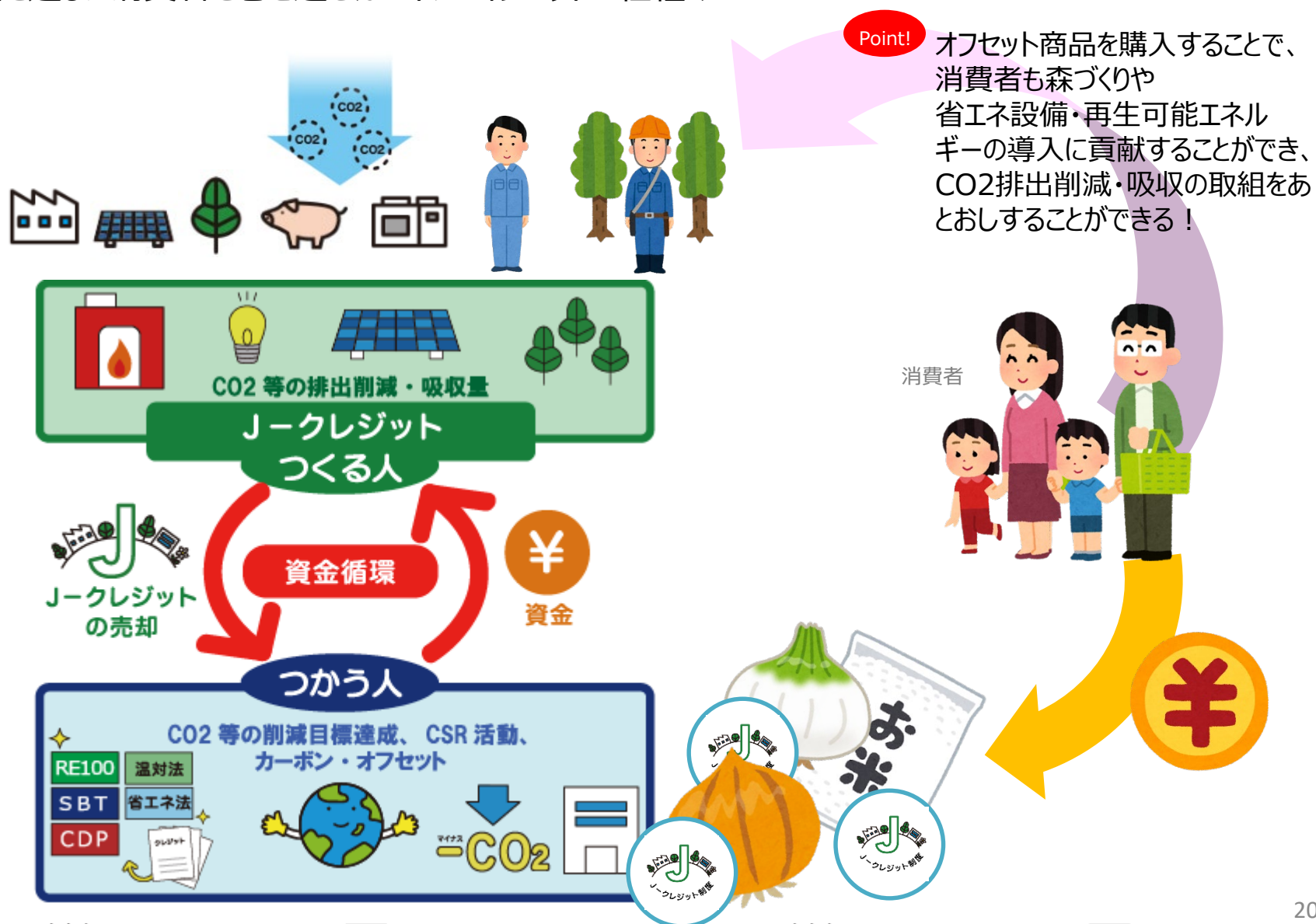


大規模展示会（エコプロ、ENEX等でのPR）



2-10. 地域経済の活性化

例：商品を通じた消費者を巻き込むカーボン・オフセットの仕組み

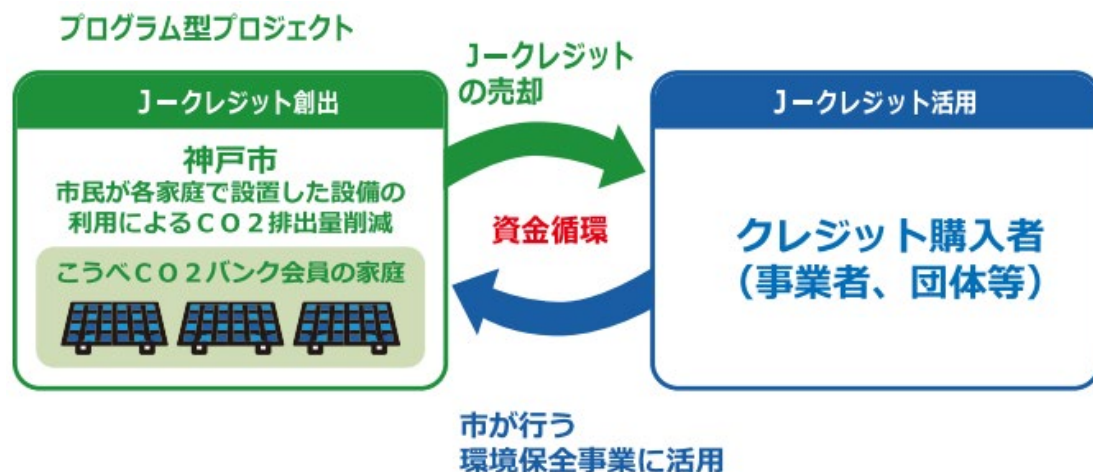


1. J-クレジットの創出状況
2. J-クレジットの活用状況
- 3. 全国のカーボン・オフセットの事例**
4. 活用スキームの構築



3-1. カーボン・オフセット事例：こうべCO2バンク～CO2の削減を環境価値に～

■ こうべCO2バンク～CO2の削減を環境価値に～ / 神戸市



Point!

市民のCO2削減量が
環境価値を生み出し、
地域における
省エネ行動を促進。

<概要>

- 神戸市では、市民の**住宅用**太陽光発電システム・燃料電池の設置によるCO2排出削減をクレジット化（環境価値化）し、地域の環境保全活動につなげる仕組みを構築
- クレジット認証量（累積）：24,690 t-CO2
- 企業などに売却して得られる収益は、神戸市が行う環境保全事業に活用
- 神戸ルミナリエなど**市民に身近なイベント**でのカーボン・オフセットの実施により、市民へ地球温暖化防止の普及啓発
- スマートフォンアプリ「イイことぐるぐる」の活用



■ ふるさと納税返礼品として「カーボン・オフセット」

＜概要＞

- ふるさと納税の**返礼品として**地元産クレジットを活用した「カーボン・オフセット」をメニューに挙げている。
(返礼品として、カーボン・オフセットを実施したことを示す「証明書」等を発行している。)
- いずれも地元の森林から創出したクレジットが対象。

※2021年2月末時点で確認ができた自治体は以下のとおり。

- ・ 下川町（北海道）
- ・ 横手市（秋田県）
- ・ 養父市（兵庫県）
- ・ 日南町（鳥取県）
- ・ 三原村（高知県）
- ・ 北九州市（福岡県）

ふるさと
納税



Point!

ふるさと納税の利用者へ
Ｊークレジットと、その活
用で環境に貢献できるこ
とを周知

Point!

消費者が**手軽に**、
ふるさと納税を通じて
「カーボン・オフセット」を
行うことができる

3-3. カーボン・オフセット事例：道の駅運営で生じるCO2のオフセット

■道の駅運営で生じるCO2のオフセット / 日南町（鳥取県）



お買い物 = 森林支援

+1円

日野川の郷でのお買い物で、
1商品につき1円が日南町の森林支援に役立てられます。



<概要>

- 道の駅にちなん日野川の郷の運営から生じる電力使用等に伴うCO2全量を、日南町有林 J-クレジットを利用してカーボン・オフセット。
- 併せて、道の駅で販売するすべての商品に1品1円のクレジットを付与した**寄付型オフセット**商品販売。
- 消費者が町の森林保全活動に貢献できる仕組み。
- 無効化量：137 t-CO2

Point!

消費者が商品購入を通じて、手軽にカーボン・オフセットに参加できる



3-4. カーボン・オフセット事例：地産地消を通じた温暖化対策と商品価値向上

■ J-クレジットの地産地消を通じた温暖化対策と商品価値向上



カーボン・オフセットシール付き商品 提供中

経済産業省、環境省等が推進している
J-クレジット制度の仕組みを活用した
「カーボン・オフセット付きシール」を商品に添付
し提供しています。
この商品を購入することで、1kgのCO₂削減
に貢献します。

子供たちの未来のために、
みんなで地球温暖化防止！



☆ J-クレジット制度とは、省エネ再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認定する制度であり、経済産業省・環境省・農林水産省が運営しています。

☆ カーボン・オフセットとは、活動で排出する分を、J-クレジット等（排出権）で「埋め合わせ」にすることです。つまり、地球全体で見ると負荷をかけていない取組です。



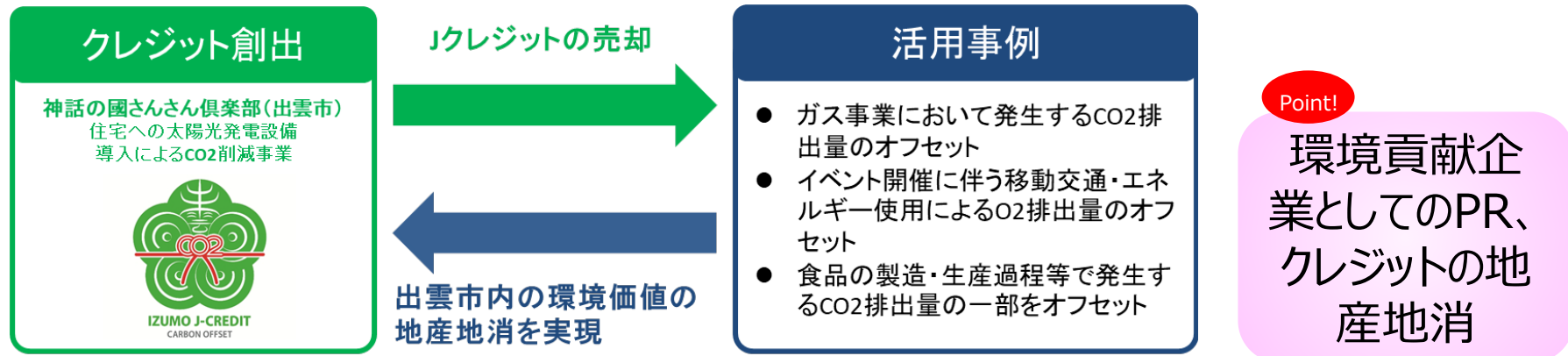
<概要>

- 株式会社管野組が栽培している「じゅんさい」に、J-クレジットを活用した**カーボン・オフセットシール**（1枚につき1kg-CO₂を付与。）を添付して販売
- 温暖化対策、商品価値向上、啓発・P R
- クレジット売却代金は、町内の温暖化対策や地域活性化関連事業等と、社会貢献（東日本大震災 被災孤児・遺児の未来を、夢を応援するための寄付）に活用



3-5. カーボン・オフセット事例：出雲市内のカーボン・オフセット

■ 出雲市内でのカーボン・オフセット事例



<概要>

- 出雲ガス株式会社は、2021年度から2025年度（5年間）のガス事業に伴う保安業務、営業・修理・工事業務において発生するCO2排出量の一部をカーボン・オフセット（150t-CO2）
- いずも産業未来博2021の開催に伴う主催者の移動交通、出展者の移動交通、会場でのエネルギー使用によるCO2排出量をカーボン・オフセット（16t-CO2）
- 有限会社坂根屋は、出雲ぜんざいの製造・生産過程等で発生するCO2排出量（1年間分）の一部をカーボン・オフセット（10t-CO2）

3-6. カーボン・オフセット事例：山口市「COOL CHOICE = 賢い選択」を軸とした取組

■山口市「COOL CHOICE = 賢い選択」を軸とした取組



Point!

クレジットの地産
地消と、市内の
資金循環を実現

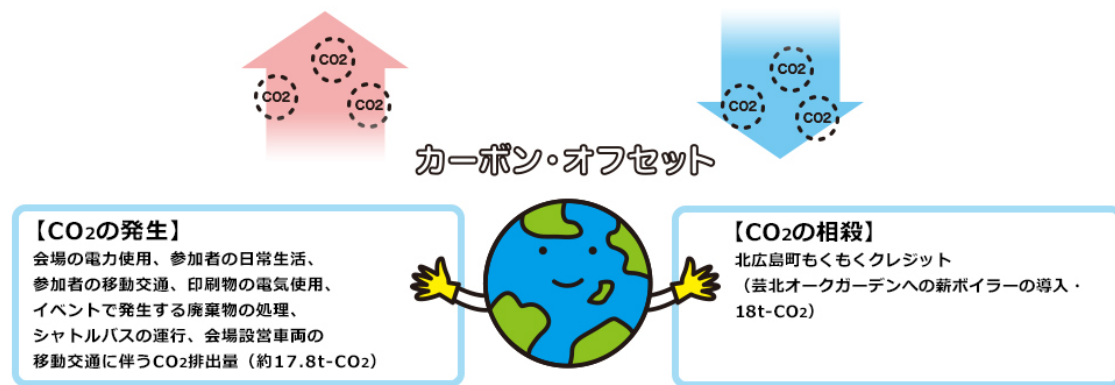
<概要>

- 山口市では環境保全の意識向上と環境に配慮したライフスタイルの転換を総合的に促していくため、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE = 賢い選択」を軸としたさまざまな啓発事業を展開。
- その一環として開催した「OH! YEAH! COOL CHOICE PARK!」について、イベント参加者の移動交通に伴うCO2排出量のカーボン・オフセットを実施（無効化量：2 t-CO2）
- イベント実施期間：2021年12月16日～2021年12月20日



3-7. カーボン・オフセット事例：環境フェア開催で生じるCO2のオフセット

■ 環境フェア開催で生じるCO2のオフセット / 東広島市



<概要>

- ひがしひろしま環境フェア2021実行委員会事務局が開催する「ひがしひろしま環境フェア2021」でのエネルギー使用に伴うCO₂排出量のカーボン・オフセットを実施。
- 会場での電力使用、参加者の日常生活、参加者の移動交通、印刷物の電気使用、イベントで発生する廃棄物の処理、シャトルバスの運行、会場設営車両の移動交通に伴うCO₂排出量（無効化量：137 t-CO₂）
- 広島県内の**森林保全**と、環境価値の**地産地消**を実現。

Point!

クレジットの地産地消と、市内の資金循環を実現

3-8. カーボン・オフセット事例：算定からカーボンオフセットまでの支援システム

事業内容 交通・観光カーボン・オフセット支援システム

交通・観光事業者による自社商品・サービスへの
カーボン・オフセット導入支援システムを提供します。



出所：株式会社ウェストボックスホームページより
(https://wastebox.net/service/kotsu_carbonoffset/)

- 交通と観光の業種を対象にカーボン・オフセットの実施を支援する仕組み。
- 導入支援システムで簡単に取り組み、カーボン・オフセットを推進。

＜取組手順＞ 株式会社ウェストボックスHPより抜粋

- ① カーボンオフセットの企画・検討
- ② ウェストボックスに、支援システムの利用申請
- ③ 年間利用料を支払い後、支援システムの利用開始
- ④ WEB上でオフセット枠（排出権）の購入
- ⑤ 利用客にカーボン・オフセット付き商品・サービスを提供
- ⑥ WEB上でオフセット報告
- ⑦ 利用客にカーボン・オフセット証明書の発行

- 交通エコロジー・モビリティ財団が2009年に開始し継続。2020年よりウェストボックスにて運営・管理。
- 合計 約 816トンの利用実績あり



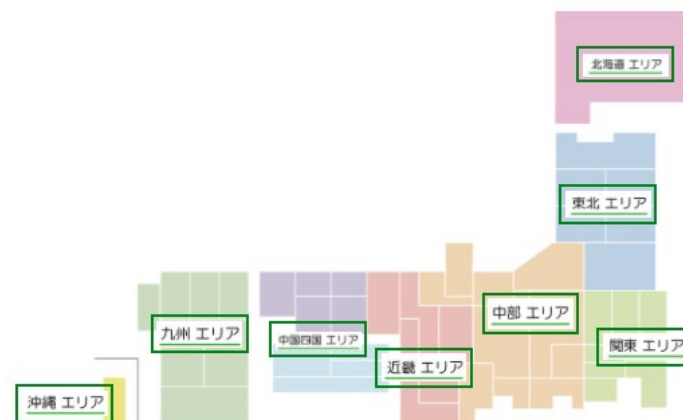
3-9. カーボン・オフセット事例：国立公園カーボン・オフセットキャンペーン

■ 国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン



<概要>

- 本キャンペーンにご賛同の事業者・団体の
方々のご協力のもと、カーボン・オフセットを行う
ことで地球全体でみると環境に負荷をかけない取組
(北海道から沖縄まで全国の国立公園を対象に算定。)
- 2017年から継続して実施。
- 地球温暖化防止に向けた行動を周知



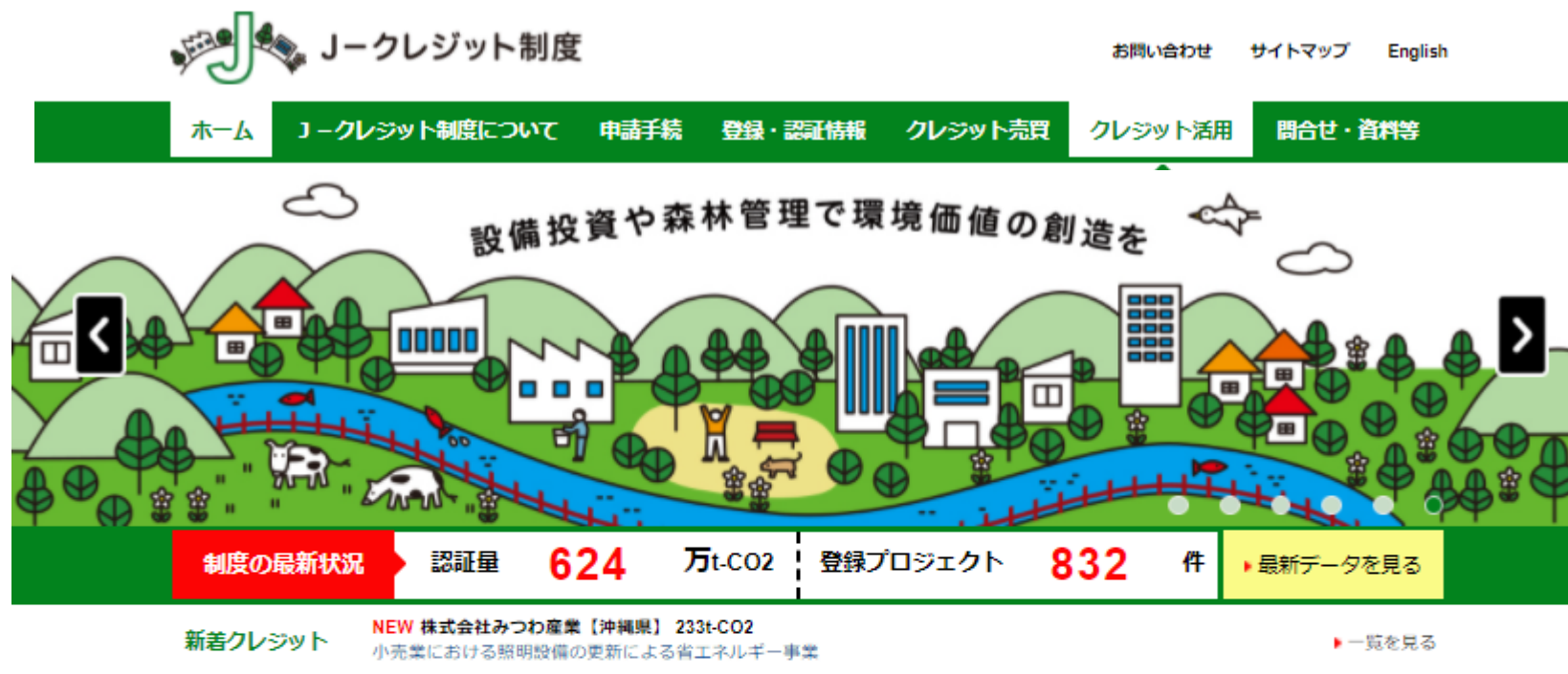
3-10. カーボン・オフセット事例：再エネ電力クレジットの活用

- 下表の通り、再エネ発電由来J-クレジットの活用を公表する例が出始めている状況。

リリース日	事業者	取組概要
2019年3月22日	トヨタ自動織機 東邦ガス	株式会社豊田自動織機が同社高浜工場に設置する水素製造設備において、水素製造時に発生する二酸化炭素排出量を、再エネ発電由来J-クレジットを用いて相殺。
2020年2月26日	沖電気工業株式会社	中長期環境ビジョン「OKI環境チャレンジ2030／2050」の達成に向けた施策の1つとして再エネ発電由来J-クレジットを調達。
2020年3月4日	カルビーグループ	関東地区5事業所で使用する電力を再エネ発電由来J-クレジットを用いた電力に切り替え。
2020年5月25日	豊田通商	国内全事業所における使用電力の実施100%再エネ化に再エネ発電由来J-クレジットを活用。
2020年6月4日	三井物産	国内全ての事業所で使用する電力の実質CO2フリー化において、支援先事業から創出される再エネ発電由来J-クレジット・森林クレジットを活用。
2020年8月6日	東急グループ	「SDGsトレイン」を運行する東横線・田園都市線の運行に使用する電力を、再エネ発電由来J-クレジットを活用した電力で調達。
2020年10月1日	大昭和紙工産業	国内すべての営業所における電力消費量について、再エネ発電由来J-クレジットを調達して相殺。



3-11. J-クレジット活用事例のご紹介



<お問い合わせ方法変更のご連絡>

この度の新型コロナウイルスの感染拡大、及び政府による緊急事態宣言に伴い、J-クレジット制度事務局におけるお問い合わせ対応は、当面の間「電話窓口」を休止とし、「メール窓口のみ」の対応とさせていただきます。ご不便をお掛け致しますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、「電話窓口」の再開については、ホームページやメールマガジン等でご案内いたします。

最新情報

2020年06月04日 J-クレジット制度事務局よりお知らせ

3-12. J-クレジット活用事例のご紹介

- 創出事例15件含め、活用事例を**1,360件**掲載
(URL : https://japancredit.go.jp/case_search/)
- 活用方法、取組方法、マーク有無、事業者名で検索が可能
- 取組を申請することで掲載されます。

宇宙のまち“大樹町”の地球に優しい取り組み2019
～まちと企業がタッグを組んでJ-クレジットによる地域貢献～



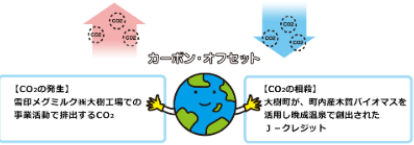
1. イベントの概要
大樹町が廃棄物処理場から排出したJ-クレジットを、町内に工場を有する豊田メグミルク㈱が購入し、大樹工場から排出されるCO2の一部をカーボン・オフセットしています。J-クレジットの取組を通じた地域貢献として、自治体と企業が一体となって進める、地域における環境対策と地域活性化の取り組みです。クレジット売却代金は、町内の森林を保全するための活動等に活用されます。

オフセット対象期間：
2019年4月1日～2020年3月31日

2. 主催者
実施主体：大樹町 豊田メグミルク㈱

3. カーボン・オフセットの内容
豊田メグミルク㈱大樹工場が、2019年度事業活動で排出するCO2の一部をオフセット（豊田メグミルク㈱大樹工場）

【無効化量】 30 t-CO2



4. 情報発信
・大樹町HP等で情報発信しています。

クレジット活用事例一覧

オフセットされるもの	会議 (9)	イベント・スポーツ (67)	商品(モノ) (936)	サービス (41)
	印刷物 (112)	複合機 (136)	工事 (12)	キャンペーン (13)
	その他 (34)			
取組方法	オフセット宣言 (831)	どんぐり制度 (433)	イベント揭示板 (67)	創出 (21)
	温対法/省エネ法報告に活用 (3)	その他活用 (5)		
掲載日	西暦	月	日	～ 西暦 月 日 まで
キーワード (事業者名など)				
上記条件で検索する リセット				

※検索結果をリセットする場合は、リセットボタンをクリックして各項目を空にしてから、再度検索ボタンをクリックしてください。

検索結果 1360件

凡例: ■ オフセット宣言 ▲ どんぐり制度 ▲ イベント揭示板

 Do Your Part! ～国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン～ 国立公園・世界自然遺産カーボン・オフセットキャンペーン実行委員会 キャンペーン	 株式会社プロティア・ジャパンカーボン・ニュートラルの取り組み 株式会社プロティア・ジャパン その他	 山口市「Happy COOL CHOICE Meeting」のカーボン・オフセット 山口市環境部環境政策課 イベント・スポーツ	 アボンコーポレーション株式会社 アボンコーポレーション株式会社 その他
 TCFDサミット2020のカーボン・オフセット 経済産業省 会議	 さとすみ協会の「令和2年度 南の自然学校in南」のカーボン・オフセット 特定非営利活動法人さとすみ協会 イベント・スポーツ	 ImageRUNNER ADVANCE DX C3730F 株式会社交野・関 印刷物	 ImageRUNNER ADVANCE DX C3730F キヤノンマーケティングジャパン株式会社 複合機

1. J-クレジットの創出状況
2. J-クレジットの活用状況
3. 全国のカーボン・オフセットの事例
- 4. 活用スキームの構築**



4-1. J-クレジットの活用スキームを構築中

＜事業者の声（一部抜粋）＞

◆**メリット**：カーボン・オフセットに取り組むと、環境に配慮した事業者として外部から評価を得られること。

◆課題：環境貢献したいが、方法が分からない。J-クレジットの活用方法が分からない。

⇒具体的な活用スキームを構築し、環境貢献したい事業者へ向けてJクレ制度HPで紹介予定。

＜活用スキーム例＞

■ オンライン会議も、CO2実質ゼロ会議モデル

- ・ 会議開催にあたり排出するCO2を簡易算定できるツールを作成。
- ・ 参加人数、会議室の面積や使用時間等の情報があれば、ツールを使って排出量を簡易に算定可能。
- ・ オンライン会議にも対応した算定ツールに更新。

■地産地消・消費者参加型の地元貢献オフセットモデル

- 地元経済の活性化につながるようなビジネスとの結びつき、継続性のあるスキーム。
- 1品に1円を上乗せし、商品購入者もカーボン・オフセットに参加、地元森林保全にも貢献できるスキーム 等

＜こういった方に効果的＞

- 業種を問わず、個人でも、会議を行う方なたでも。
- ✓ 排出量の算定方法を知らない方でも、ツールを使えば簡易に算定可能な点がメリット。

- 地元で創出したクレジットの使い道に悩んでいる方。
- 消費者を巻き込んだ「地産地消」スキームは、ストーリーが伝わりやすく、環境貢献している企業としてイメージUPを狙える。

4-2. CO2実質ゼロ会議 算定ツールを公開



- 簡単な入力でCO2排出量が算定できるツールを公開しています。ぜひご利用ください。オンライン会議も対応。

↑
HPへのアクセスはこちらから。

會議名稱：

開催に伴い排出するCO2の合計：

0.41 t-CO₂

無効化
量は **1 トン**

※小数点以下は切り上げ

■出席者の移動にともなうCO2排出量算定

番 号	移動者	移動方法	(排出原単位)	×【出発地 ～ 会議開催地までの距離 (片道)】		×往復/片道	×人数	= 排出量
	※入力してください	※選択してください		※入力してください	※入力してください	※選択してください	※入力してください	
【例】	A 社	さんの移動:						
		バス (営業用乗合)	0.0836	〇〇バス停 ⇒	△△バス停	2.7 km	往復	3
		旅客航空機 (国内)	0.11	△△空港 ⇒	××空港	500 km	往復	3
		旅客鉄道	0.0236	××駅 ⇒	□□駅	30 km	往復	3
出席者1:	Jクレ	さんの移動:						
		旅客航空機 (国内)	0.11	羽田空港 ⇒	新千歳空港	894 km	往復	2
	事務局	旅客鉄道	0.0236	新千歳空港 ⇒	札幌	47 km	往復	2
				⇒		km		

出席者の移動に伴うCO2排出量の合計： **0.398 t-CO2**



■会議室、会場等の利用によるCO2排出量算定

	会議室名 ※入力してください	会議室の面積 ※入力してください 単位	×会議開催時間 ※入力してください h	×排出原単位	=排出量
【例】	関の間	1000 m2	5 時間	7.27E-06	0.036
会議室1:	国際ホール	195	2 時間	7.27E-06	0.003
会議室2:			時間	7.27E-06	0.000
会議室3:			時間	7.27E-06	0.000

会議室、会場等でのエネルギー使用に伴うCO2排出量の合計： **0.003** t-CO2





J-クレジット制度事務局

(みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 環境エネルギー第2部)

TEL : 03-5281-7588

E-mail : help@jcre.jp

J-クレジット制度ホームページ

<https://japancredit.go.jp/>

